

厚生労働科学研究費補助金（障害者政策総合研究事業）
（総括・分担）研究報告書

スマートフォン、タブレット端末を導入した代読・代筆システムの
開発にかかる研究

分担研究者 牟田口辰巳 広島大学大学院教育学研究科 教授

研究要旨

広島県眼科医会、広島視覚障がい者の問題を考える会などの関係団体と連携を行いながら、代読代筆援助の実際として事例を挙げて解説した。スマートフォン、タブレット端末を導入した代読・代筆システムの構築とその応用を行った。

A. 研究目的

代読代筆援助の実際を詳述する。
タブレット端末スマートフォンを用いた IT
技術を応用した読み取り、翻訳技術を取得
するためのマニュアル作成とマニュアルの
有効性を確認するための検証の 2 点を目的
とした。

B. 研究方法

代読代筆援助の実際としての記載
最初に必要な事

- 1) 国・行政・県庁・市町村役場
- 2) 交通・建築や地理の説明
- 3) 勤務場所や労働
- 4) 教育
- 5) 不動産取引
- 6) 商品およびサービスの提供
- 7) 医療
- 8) トイレ
- 9) 食事の時
- 10) 歩行中の説明

11) 買い物の説明

12) 警察および司法手続

13) 税金・年金

14) 文章以外の素材の分かりやすい音
声化

15) その他

（倫理面への配慮）

視覚障がい者、関係医療従事者、教育学部
（特別支援教育専攻）の学生、関係団体・
行政等に対して、インタビューまたは聞き
取り式／自記式のアンケートを実施する。
調査の前には広島大学倫理委員会の承認を
得る。また、本研究は既刊テキスト編集委
員会の承諾を得た。

インタビュー、アンケートの際には事前に
口頭で本研究の目的を説明した上で、同意
に応じた者のみから回答を得る。同意取得
のための説明を行った日時、場所、説明者
等必要事項は記録を作成する。

アンケートデータを発表または会議資料と
して用いる際は、職種や当事者としての立
場などの必要な情報以外の個人情報をも
削除し、回答者の個人が特定できないよう
にする。

インタビュー、アンケートデータの収集・
編集に使った情報メディア（用紙、音声レ
コーダー、PCなど）は広島大学病院の鍵の

掛かる部屋で管理し、研究以外の用途に使用しない。

上記の情報メディアは、研究終了後にデータのコピーを DVD-R に保存した上で、広島大学の規定に従って消去または処分する。DVD-R は 10 年間保存し、不要の際は広島大学の規定に従って処分する。

C. 研究結果

代読代筆援助の実際としての記載した。

現行マニュアルには具体的な状況の代読例がないために具体例を追加した。

食堂での食事、お弁当の説明、料理の説明、トイレでの状況説明、グラフの説明、ポスターの説明、売店での買い物、およびカタログによるショッピング場面が追加された。

D. 考察

今回の具体的な事例については、同行援護の技術的な観点から見ても大変有効と思われる。

事例は時に「こうでなければならない」という印象を受講生に与えかねないので、そのあたりの塩梅が大変難しいところである。もちろん技術が優れているからイコール

「いいガイド」ではない。局最終的には「支援する人」の人柄、経験、考え方が良い同行、代読、代筆支援につながるであろう。スマートフォンの使い方を教えられた視覚障がい者が

E. 結論

当初掲げたこのテキストをさらにブラッシュアップすることに加えて、1.多言語に対応できるようにすること、2.スマートフォン、タブレット端末などの最新のIT技術の応用できるようにすること、3.個人情報の保護の徹底、を盛り込んだ代読・代筆の支援のための全国共通の新たな標準カリキュラムを作成する。という目的は達成した。

F. 健康危険情報 ない

G. 研究発表

1. 論文発表

門脇 弘樹・牟田口辰己．白杖歩行の偏軌に歩行速度がもたらす影響．視覚リハビリテーション研究．第 5 巻 第 2 号，pp.53-62，2016

2. 学会発表

門脇弘樹、牟田口辰己．歩行軌跡の偏軌における近似曲線を用いた分析．視覚障害リハビリテーション研究発表大会抄録集．2016，88

H. 知的財産権の出願・登録状況 (予定を含む。)

1. 特許取得

なし

2. 実用新案登録

なし

3. その他

なし